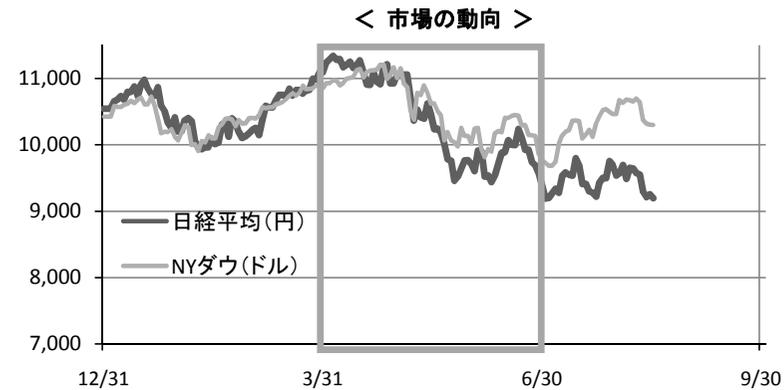


年金積立金管理運用独立行政法人の運用結果(平成22年度第1四半期)

○ 第1四半期(4月から6月まで)の運用状況は、ギリシャに端を発する欧州諸国の財政問題により、内外株価が大幅に下落したこと及び円高の影響により、**マイナス2.9%(約▲3.6兆円)**となった。

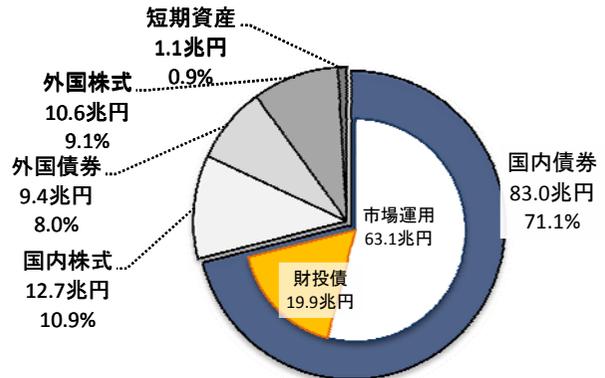
(参考) 年金積立金全体では、13年度(自主運用開始)からの**累積で約19兆円のプラス**。



○ 資産別収益額(収益率)及び年度末運用資産額

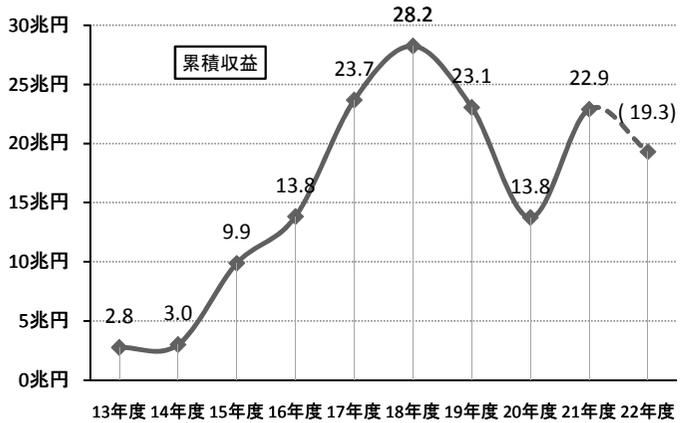
	(単位: 億円)		(単位: 兆円)	
	第1四半期(4-6月)	収益率	運用資産額	構成割合
国内債券	14,868	-	83.0	71.1%
市場運用分	14,182	2.3%	63.1	54.1%
財投債	686	0.3%	19.9	17.0%
国内株式	▲ 20,548	-13.9%	12.7	10.9%
外国債券	▲ 7,617	-7.5%	9.4	8.0%
外国株式	▲ 22,605	-17.4%	10.6	9.1%
運用資産全体	▲ 35,898	-2.9%	116.8	100.0%

○ 年度末資産構成割合



※ 運用資産全体の合計には、短期資産の収益額及び資産額を含む。

(参考) 積立金全体の運用実績(自主運用開始から)



年度	管理運用法人		積立金全体		
	管理運用法人 (兆円)	収益率	預託金 (兆円)	積立金全体の 収益額(兆円)	収益率
13年度	▲ 1.3	▲ 1.8%	4.1	2.8	1.9%
14年度	▲ 3.1	▲ 5.4%	3.3	0.2	0.2%
15年度	4.4	8.4%	2.4	6.9	4.9%
16年度	2.2	3.4%	1.7	4.0	2.7%
17年度	8.7	9.9%	1.2	9.8	6.8%
18年度	3.8	3.7%	0.8	4.6	3.1%
19年度	▲ 5.6	▲ 4.6%	0.5	▲ 5.2	▲ 3.5%
20年度	▲ 9.4	▲ 7.6%	0.1	▲ 9.3	▲ 6.9%
21年度	9.2	7.9%	0.0	9.2	7.5%
22年度	(▲ 3.6)	(▲ 2.9%)		(▲ 3.6)	-
合計	(5.3)	-	(14.1)	(19.3)	-

※1 管理運用法人の収益率は、運用手数料等控除前の収益率。
 ※2 【 】内は、平成12年度以前の旧年金福祉事業団の損益等を含めた累積損益。

(年金積立金の管理・運用の基本的な考え方)

年金積立金は、国民の老後の年金給付に充てるためのものであることから、その運用は、安全を第一に、比較的 안전한資産とされる国内債券を中心としつつ、株式等に分散投資を行っています。

しかしながら、市場で運用する限りは、一時的に損失が出ることもありますが、損失が出たからと慌てたり、収益が出たからと楽観視するのではなく、長期的な観点に立って運用を行うことが重要です。

市場の動向(平成22年度第1四半期)

《運用資産全体(市場運用分+財投債)》

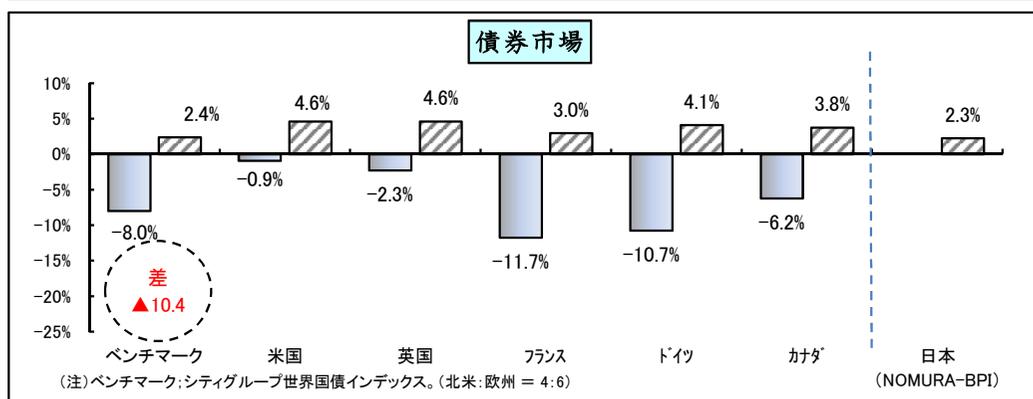
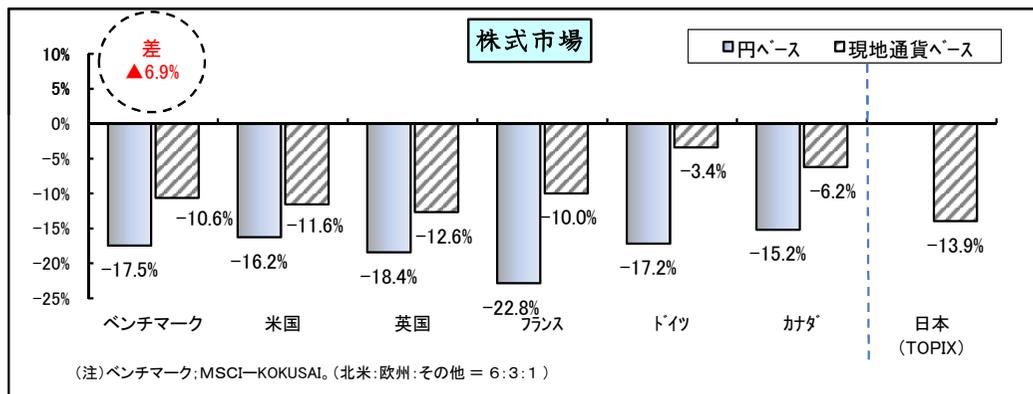
	平成21年度	平成22年度				通期
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
収益率(%)	7.91	-2.94				-2.94
収益額(億円)	91,850	-35,898				-35,898
運用資産額(億円)	1,228,425	1,168,027				1,168,027

※ 収益額は、運用手数料及び借入利息等控除前のもの。

○ 参考指標 (()内は、21年3月末からの騰落率。)

	平成22年3月末	平成22年6月末
日経平均	11,089.9円	9,382.6円 (-15.4%)
TOPIX(配当なし)	978.8ポイント	841.4ポイント (-14.0%)
NYダウ	10,856.6 ^{ドル}	9,774.0 ^{ドル} (-10.0%)
DAX(ドイツ)	6,153.6ポイント	5,965.5ポイント (-3.1%)
為替(ドル/円)	93.4円	88.5円 (-5.3%)
為替(ユーロ/円)	126.4円	108.4円 (-14.3%)

平成22年7月末
9,537.3円 (-14.0%)
849.5ポイント (-13.2%)
10,465.9 ^{ドル} (-3.6%)
6,148.0ポイント (-0.1%)
86.7円 (-7.3%)
112.9円 (-10.7%)



○ 海外の年金基金に比べて安全重視の運用 (「国内債券を中心とした分散投資」)

(参考) 海外の年金基金の運用状況

	22年度 (4-6月)	(21年度)	(20年度)
・ CalPERS <株式 約5割> (米)カリフォルニア州職員退職年金基金)	▲4.5%	(25.2%)	(▲29.1%)
・ CPPIB(カナダ) <株式 約6割>	▲1.3%	(14.9%)	(▲18.6%)
・ GPF-G(ルウエー) <株式 約6割> (全て海外資産)	▲0.2%	(25.5%)	(▲9.5%)
・ AP1~4(スウェーデン) <株式 約6割> ※ 各基金の資産残高で加重平均	-	(19.7%)	(▲21.6%)
・ 管理運用法人 <株式 約2割>	▲2.9%	(7.9%)	(▲7.6%)

年金積立金管理運用独立行政法人 平成22年度第1四半期運用状況

平成22年度第1四半期運用状況

- 第1四半期の収益率（期間率）は、国内外の株価の下落等によりマイナス2.94%となりました。
- 第1四半期の収益額は、マイナス3兆5,898億円となりました。
- 第1四半期末の運用資産額は、116兆8,027億円となりました。

（注1）当法人が管理・運用している資産は、市場運用を行っている資産（以下「市場運用分」という。）と満期保有としている財投債になります。市場運用分は時価評価、財投債は償却原価法による評価により管理・運用を行っています。

（注2）収益率は、市場運用分と財投債の投下元本平均残高等で加重平均により算出しています。

※ 年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要ですが、情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

《平成22年度第1四半期運用状況の概要》

	平成21年度					平成22年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度
収益率 (%)	3.89	1.06	1.47	1.29	7.91	-2.94	-	-	-	-2.94
収益額 (億円)	45,682	12,855	17,766	15,547	91,850	-35,898	-	-	-	-35,898
運用資産額 (億円)	1,218,619	1,221,007	1,224,575	1,228,425	1,228,425	1,168,027	-	-	-	1,168,027

《参考》

(市場運用分)

	平成21年度	平成22年度
		第1四半期
修正総合収益率 (%) (時間加重収益率)	9.55 (9.58)	-3.61 (-3.62)
総合収益額 (億円)	88,938	-36,584
運用資産額 (億円)	1,022,668	969,240

(財投債)

	平成21年度	平成22年度
		第1四半期
収益率 (%)	1.26	0.33
収益額 (億円)	2,912	686
運用資産額 (億円)	205,756	198,787

(注1) 市場運用分は時価による評価、財投債は償却原価法による評価に未収収益を含めたものにより算出しています。

(注2) 収益率及び収益額は、運用手数料等控除前のものです。また、各期間の収益率は期間率、平成21年度(年度)は年率です。

1. 収益率の状況

	平成21年度	平成22年度				年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
収益率 (%)	7.91	-2.94	-	-	-	-2.94

《参考》

(市場運用分)

	平成21年度	平成22年度				年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
修正総合収益率 (%)	9.55	-3.61	-	-	-	-3.61

	平成21年度	平成22年度				年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
時間加重収益率 (%)	9.58	-3.62	-	-	-	-3.62
国内債券	1.98	2.29	-	-	-	2.29
国内株式	29.40	-13.93	-	-	-	-13.93
外国債券	1.32	-7.51	-	-	-	-7.51
外国株式	46.11	-17.43	-	-	-	-17.43

(財投債)

	平成21年度	平成22年度				年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
収益率 (%)	1.26	0.33	-	-	-	0.33

(注) 収益率は、運用手数料等控除前、平成22年度の各期間、年度は期間率、平成21年度は年率です。

2. 収益額の状況

	平成21年度	平成22年度				年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
収益額（億円）	91,850	-35,898	-	-	-	-35,898

《参考》

（市場運用分）

	平成21年度	平成22年度				年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
総合収益額（億円）	88,938	-36,584	-	-	-	-36,584
国内債券	12,279	14,182	-	-	-	14,182
国内株式	33,510	-20,548	-	-	-	-20,548
外国債券	1,315	-7,617	-	-	-	-7,617
外国株式	41,824	-22,605	-	-	-	-22,605
短期資産	10	4	-	-	-	4

（財投債）

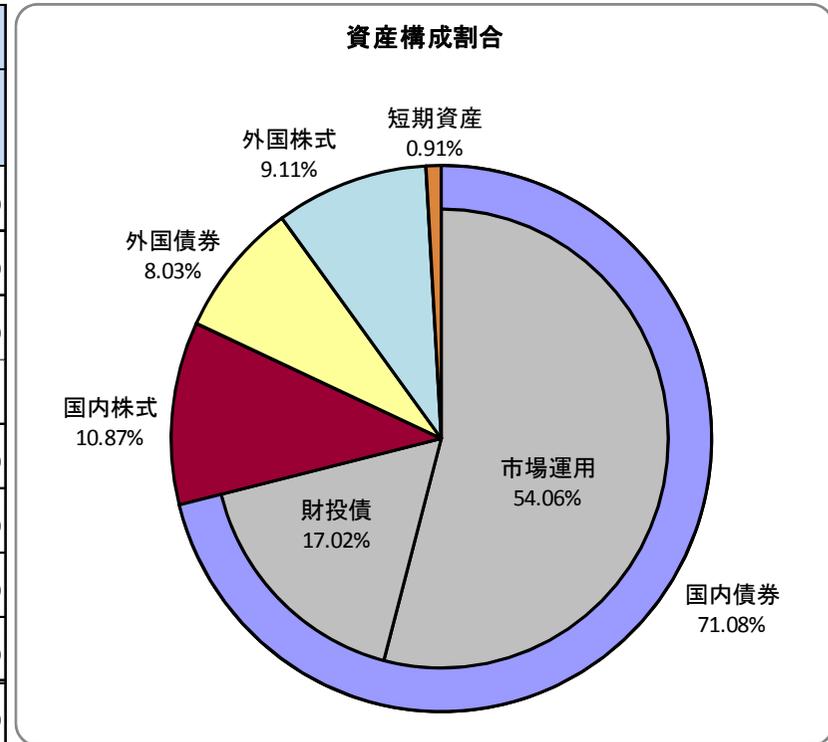
	平成21年度	平成22年度				年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
収益額（億円）	2,912	686	-	-	-	686

（注1）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

（注2）収益額は、運用手数料控除前のものです。

3. 運用資産額及び資産構成割合

	第1四半期末（平成22年6月末）		
	運用資産額 （億円）	運用資産の 構成割合	（参考） 年金積立金全体の 構成割合
国内債券	830,215	71.08%	68.14%
市場運用	631,427	54.06%	51.83%
財投債（簿価）	198,787	17.02%	16.32%
（参考：時価）	206,184	-	-
国内株式	126,949	10.87%	10.42%
外国債券	93,833	8.03%	7.70%
外国株式	106,424	9.11%	8.74%
短期資産	10,607	0.91%	5.00%
合計	1,168,027	100.00%	100.00%



（注1）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

（注2）運用資産額は時価総額です。財投債（簿価）は償却原価法による簿価に未収収益を含めた額です。

（注3）上記の（参考）年金積立金全体の構成割合は、6月末の各資産の構成割合と基本ポートフォリオに定める資産構成割合の比較のため、短期資産を基本ポートフォリオにおける割合である5%として、当法人が管理運用している運用資産を基に算出しています。

4. 超過収益率の状況（市場運用分）

【第1四半期】

（単位：％）

	第1四半期（期間率）		
	時間加重収益率 （A）	ベンチマーク収益率 （B）	超過収益率 （A－B）
国内債券	2.29	2.26	0.03
国内株式	-13.93	-13.94	0.01
外国債券	-7.51	-7.67	0.16
外国株式	-17.43	-17.45	0.02

- 国内債券： 概ねベンチマーク並みの収益率となりました。
- 国内株式： 概ねベンチマーク並みの収益率となりました。
- 外国債券： 社債セクターにおいて保有していた銘柄の収益率が、当該セクターのベンチマーク収益率より高い収益率となったこと等がプラスに寄与しました。
- 外国株式： 概ねベンチマーク並みの収益率となりました。

平成22年度 第1四半期運用環境

【各市場の動き（4月～6月）】

国内債券：新発10年国債利回りは、4月初旬までは日銀が景気判断を上方修正したことなどから上昇（債券価格は下落）しましたが、4月下旬のギリシャ等の財政悪化問題をきっかけに反転低下し（債券価格は上昇）、これ以降、米国の経済指標の悪化、国内の経済環境の悪化懸念等を材料に低下傾向を強めました。結局、期を通じては大幅に低下しました。

国内株式：国内株式市場は、4月中は一進一退の状況が続いたものの、5月に入り、ギリシャ等の財政悪化問題に伴う円高の進行等により大幅に下落しました。6月に反発する局面もあったものの、米国住宅統計が悪化したこと等から下落しました。期を通じては、大幅に下落しました。

外国債券：米国10年国債利回り、ドイツ10年国債利回りは、ギリシャ等の財政悪化問題から再燃した質への逃避により、大きく低下（債券価格は上昇）し、現地通貨ベースの収益率はプラスとなりました。その一方、為替は円高ドル安、円高ユーロ安となりました。その結果、外国債券のベンチマーク収益率は、-7.67%となりました。

外国株式：米国株式市場は、4月中は主要企業の好決算や経済指標の改善等を背景に堅調に推移しました。5月以降、ギリシャ等の財政悪化問題が及ぼす世界経済への悪影響からリスク回避的な動きが強まり、大きく下落しました。欧州市場は、概ね米国市場と連動する展開でした。加えて、為替は円高ドル安、円高ユーロ安となり、外国株式のベンチマーク収益率は大幅にマイナスになりました。

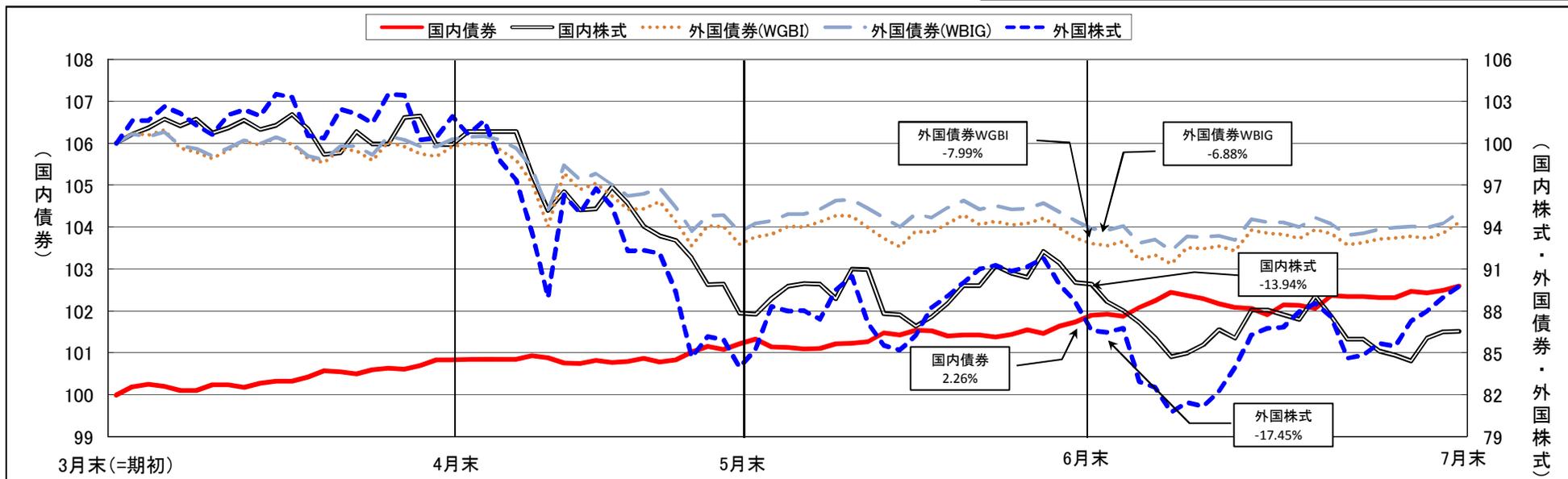
○参考指標

	平成22年3月末	平成22年4月末	平成22年5月末	平成22年6月末
国内債券	(新発10年国債利回り) 1.39%	1.28%	1.26%	1.08%
国内株式	(TOPIX配当なし) 978.81ポイント (日経225) 11,089.94円	987.04ポイント 11,057.40円	880.46ポイント 9,768.70円	841.42ポイント 9,382.64円
外国債券	(米国10年国債利回り) 3.84% (ドイツ10年国債利回り) 3.10%	3.69% 2.98%	3.31% 2.67%	2.97% 2.58%
外国株式	(NYダウ) 10,856.63ドル (ドイツDAX) 6,153.55ポイント	11,008.61ドル 6,135.70ポイント	10,136.63ドル 5,964.33ポイント	9,774.02ドル 5,965.52ポイント
為替	(ドル/円) 93.44円 (ユーロ/円) 126.43円	94.01円 125.00円	91.04円 111.70円	88.49円 108.39円

○ベンチマーク収益率

	平成22年7月末	平成22年4月～6月	平成22年4月～7月
国内債券	1.07%	2.26%	2.58%
国内株式	849.50ポイント (NOMURA-BPI「除くABS」) 9,537.30円	-13.94%	-13.11%
外国債券(円ベース)	2.94% (TOPIX配当込み) 2.68%	-7.67%	-6.00%
外国債券(円ベース) 複合ベンチマーク収益率	10,465.94ドル	-7.67%	-6.00%
(参考) (現地通貨ベース)	6,147.97ポイント	2.40%	3.12%
(シティグループ世界国債インデックス(除く日本))	86.66円	-7.99%	-6.15%
(シティグループ世界BIG債券インデックス(除く日本円))	112.90円	-6.88%	-5.63%
外国株式(円ベース) (MSCI KOKUSA1)		-17.45%	-12.16%
(参考) (現地通貨ベース)		-10.61%	-5.00%

累積ベンチマークインデックスの推移（平成22年度 第1四半期）



○エマージング株式への投資について

エマージング株式については、グローバル株式市場において、すでに一定規模のウエイトを占め、今後さらに経済成長等によりウエイトの増加が見込まれる。こうした状況の下、エマージング株式への投資について、以下直近3回の運用委員会において議論が行われ、その結果、収益機会の拡大を目的としてエマージング株式を外国株式の一部に位置づけ、投資対象に加えることとなり、エマージング株式運用機関の公募を開始したところ。

【運用委員会の開催状況】

平成 22 年 6 月 22 日 第 39 回運用委員会
 7 月 28 日 第 40 回運用委員会
 9 月 24 日 第 41 回運用委員会

(参考)エマージング国の GDP と株式市場の状況

